

令和6年7月24日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長  
明石 欣也 (公印省略)

### 教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願い申し上げます。

#### 記

1. 公募する職と人数

助教 1名

2. 所属

農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター 遺伝資源評価保存研究部門

3. 応募資格

- (1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有する者または研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると教授会が認めた者
- (2) ナショナルバイオリソースプロジェクト(※1)に関わるきのこ類菌株の収集・保存・分譲業務に熱意を持って取り組める者
- (3) 以下のテーマに関わるいずれかの研究とこのこの農林業への応用に関する教育・研究を行うことができること
  - ① きのこの分類学的研究
  - ② きのこの栽培技術や子実体形成能に関する研究
  - ③ きのこの遺伝・育種に関する研究
- (4) 鳥取大学農学部教員選考基準(資料1)を満たしていること  
なお、学位未取得者においては実務経験を有すること
- (5) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻博士前期課程(資料2)が担当  
できることが望ましい

\*資料1、資料2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして確認してください。 (<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

- (1) 学 部：農学部生命環境農学科、担当予定教育コース 植物菌類生産科学コース  
 菌類分類学Ⅰ・Ⅱ(分担)、きのこ栽培学(分担)、菌類遺伝育種学  
 (分担)のいずれか  
 生物系基礎実験演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(分担)、植物菌類生産科学基礎演習  
 (分担)、植物菌類生産科学実験演習Ⅰ・Ⅱ(分担)、植物菌類生産科学  
 英語Ⅰ・Ⅱ、植物菌類生産科学グローバル演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(分  
 担)、先端農学研究Ⅰ・Ⅱ(分担)、生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ、  
 卒業研究、  
 教育職員免許状関係授業科目(生物学実験演習)、  
 東南アジア熱帯域における菌類科学フィールドワーク(※2)、  
 全学共通科目・一般教養科目(生物学)等  
 が担当できること
- (2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士課程前期農学専攻  
 菌類きのこ資源科学教育分野(予定)  
 菌学基礎論、菌学応用論、菌類分類学特論(分担)または菌類遺伝育  
 種学特論(分担)、生命環境農学特論Ⅱ(分担)、農学特別演習Ⅰ・  
 Ⅱ、菌類生理生態学Ⅲ、海外菌類資源発掘演習(分担)等

## 5. 提出書類

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書(記入要項参照)                  | 1 通   |
| (2) 調査書(記入要項参照)                  | 1 通   |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷(複写も可) | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要(2,000 字程度)         | 1 部   |
| (5) 実務経験を有する者はその内容が分かる書類         | 1 部   |
| (6) 教育・研究に対する抱負(1,200 字程度)       | 1 部   |
| (7) 推薦者がある場合は推薦書                 | 1 通   |
| (8) 学位記の写し又は学位取得(見込)証明書          | 1 通   |
| 2025 年 3 月に学位取得予定の者は指導教員の所見      | 1 通   |

\*記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてくだ  
 さい。

(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

## 6. 応募締め切り

令和 6(2024)年 12 月 20 日(金) 必着

7. 選考方法

書類選考の後、最終候補者によるプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

8. 採用予定年月日

令和7(2025)年4月1日 以降のできるだけ早い時期

9. 書類送付先および問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター

遺伝資源評価保存研究部門教員予備選考委員長 霜村 典宏

電話:0857-31-5381

E-mail: nshimo@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

10. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎いたします。また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・ 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

URL: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・ 鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

URL: <http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/worklife-balance-suppot/>

- ・ 鳥取県の「子育て王国とっとり」

URL: <https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センターは、遺伝資源多様性研究部門、遺伝資源評価保存研究部門、有用きのこ生産研究部門、新機能開発研究部門、物質活用研究部門の5つの部門からなります。遺伝資源多様性研究部門では、菌類の分類学的研究および種多様性解析や遺伝資源としてのきのこ類菌株の収集を行っています。遺伝資源評価保存研究部門では、様々な地域・基質に生息する菌類きのこ遺伝資源を分離、培養、保存する研究を行い、収集した遺伝資源株の生理的諸性質、培養特性の調査および遺伝子情報の集積とデータベースの構築に取り組んでいます。有用きのこ生産研究部門では、有

用きのこ類の子実体を人工栽培することで、きのこ類遺伝資源の付加価値を高める研究を行っています。新機能開発研究部門では、医薬品あるいは機能性物質としての有用性、更にはその作用メカニズムを細胞生理学、薬理学の視点から探索しています。物質活用研究部門では、菌類きのこに含まれる生理活性物質を抽出・精製し、その化学構造の解析や、それらを有効活用する研究を行っています。

2. 農学部生命環境農学科には教員組織として、生命環境農学講座があり、学科の教育コースとして、植物菌類生産科学コース、国際乾燥地農学コース、里地里山環境管理学コース、農芸化学コースの4つのコースがあります。

植物菌類生産科学コースは次の教育目標を掲げています。

持続性のある農業生産を行うためには、生物資源を発掘し、育種する基礎的な知識・技術を習得し、高度な生産技術開発を行える人材が必要不可欠です。本コースでは、附属フィールドサイエンスセンターにおける広大な農地・森林や附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの膨大な遺伝資源を最大限に活用し、専門家・技術者として生産現場で活躍できる人材を養成します。

3. (※1) 菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC) は、文部科学省 令和4年度「ナショナルバイオリソースプロジェクト(第5期)」の中核拠点整備プログラムに採択され、FMRCが保有している1,800種9,100株を超える世界最大級の「菌類きのこの遺伝資源」を基盤として、きのこ遺伝資源の収集、保存、分譲と情報提供を実施する中核拠点機関としての整備を行います。
4. (※2) 東南アジア熱帯域における菌類科学フィールドワークは、農学部生および持続性社会創生科学研究科農学専攻学生約15名を対象に、約10日間タイ国・コンケン大学において、南アジア熱帯域の未活用遺伝資源であるきのこ類に着目し、森林でのフィールドワーク、室内実習、研究センターや現地きのこ農場の視察をします。研修は英語で行い、現地学生も参加します。

以上